

平成19年度 第1回福岡市中央卸売市場開設運営協議会食肉部会議事録

- 1 開催日時 平成20年1月29日（火） 10:00～11:00
- 2 開催場所 食肉市場 コミュニティーホール
- 3 出席者 開設運営協議会食肉部会委員・専門委員7名（別紙委員名簿参照）  
欠席：開設運営協議会会長・宮本専門委員
- 4 傍聴者 なし
- 5 会議内容  
中央卸売市場長あいさつ，事務局から委員紹介を行った後，議事に入る。

議題1：部会長，副部会長の選任について

（議長）議題1について事務局説明願います。

（事務局）選任方法について説明。委員互選により部会長に花田委員，副部会長に外井委員を選任。

（議長）事務局から一括して報告の旨説明。

報告事項1 食肉市場リフレッシュプランの進捗状況について

報告事項2 市場取扱状況について

報告事項3 福岡食肉市場まつりについて

－ 資料に沿って事務局が説明 －

質疑応答

（委員）リフレッシュプランの機能高度化事業については、2月補正に諮り今年度は施設整備を実施しないということはわかりました。今後についてですが、辞退後の4社で設計を見直すとかするのですか。

（事務局）一からもう一度やり直したいと考えております。20年度については、建築確認申請をいつ出せるかということもありますので具体的にはまだ決まっていません。

（委員）建築確認申請が耐震構造の関係で、スケジュールが示されていないという状況です。本来なら着工して入居という段階に入っていなければな

らないのですが、入居予定者の方からどうなっているのかという意見もあり、このまま放置するわけにもいかずとりあえず中断し再度検討しようということで市に補助金の取り下げ等お願いしました。今後については、入居希望もありますので加工部の増設は困難な状況でありますので、テナントについてのみ20年度に確認申請をとり着工までこぎつけたいと考えています。辞退された方もおられますので、もう一度要望をとり設計の見直しをやっていきます。加工部の増設については、取扱いが並行している状況ですので、現在のレイアウトの改良で対応し、今後、細分割・パックなどの要望が強くなった時点で検討していきたいと考えています。来年になるか再来年になるかはわからない状況です。

(委員) 補助金が絡んでいますので、今後希望する場合は早い段階で相談して頂きたいと思います。

(委員) 補助金をお願いする場合は、開設者である市にお願いして検討していきます。テナント部分だけであれば自己資金のみで対応できるのではないかと考えていますが、入居者が増えて事業費が増えるようであれば、補助金の申請を検討いたします。

(委員) 食肉市場は、食育の推進のためにも活用すべきと考えております。見学者の数はどうなっていますか。日頃から活用するように言っている。

(事務局) 18年度が2420人位です。一番少ないのが15年度の900人位ですがその後増えまして、12年度に移転した後1万3000人程の方が見学されております。このうち学校関係の方は、4000人を超えています。一般市民の方が3300人、企業の方が1300人程です。今後共積極的に見学を受け入れていきたいと考えております。

(委員) 今年の市場まつりは、11月3日の土曜日で昨年も同じ位に開催されたと思うが、今年は昨年より少なかったような気がします。

(委員) 以前土曜日に開催して少なかった日があったのでできるだけ11月前半の日曜日に開催するようにしています。また、マンネリ化しているため内容的に、もう少し考慮する必要があると感じています。

(委員) このまつりを楽しみにしている人が多いので、よろしくお願いします。

(委員) 全頭検査はどうなっていますか。

(事務局) 21ヵ月未満の全頭検査については、保健福祉局に強く要望しており、内々には実施する方向になっています。また、方針決定の決裁をとることので、その時期については今のところ未定です。

(委員) 検査費用は、現在は国が出しているのか。

(事務局) 現在は、国が出しています。

(委員) 市が実施した場合の費用は、80万位になると聞いています。

(事務局) 全国的には、ほとんど継続するようです。

- (委員) 鹿児島などの産地では、既に全頭検査の実施が決まっています。一箇所でも検査を実施するところがあれば、福岡市も実施する必要があると思います。
- (事務局) 卸売手数料の弾力化についてですが、1月末に東京都が方針を出すようになっています。情報によると、基本的には自由化で、卸売手数料については届出制にするが、卸売会社の経営が厳しいため現状の手数料は変えないという意向を卸売会社は持っているようです。届出後3年間は変更をさせないということです。関連して出荷奨励金と完納奨励金については、現行のままでいくとのことで、福岡市は東京都の方向性をみながら考えていきたいと思います。
- (委員) 鮮魚市場が予算を計上し、月に一回位テントを張って一般開放するようですが、食肉市場も参加するのですか。ここの肉も鮮座に出してあるようですが。
- (事務局) まずは鮮魚市場で始めますが、市民の方にとっては色々な品物があつたほうが良いと考えています。そういう事もあり、まずは鮮座に肉を出しています。
- (委員) 見学者から食肉市場の肉はどこで買えるのかという要望もあり、現在は鮮座と馬出のゆめタウンで販売しています。これは食肉市場の衛生のPRのために行なっています。
- (委員) 市場まつりの件ですが、市内から5000～6000名と集まってると思うが、西方面でも開催してもらえないか。
- (委員) ここは平成12年に開場しましたが、鮮魚や青果市場と比べて食肉市場をよく知らない人が多く、市場をPRするためにまつりを始めました。他の市場では、場所を変えて開催しているところもあります。しかし、この市場を認知してもらおうということでまつりを始めていますので、今のところ場内で開催しているわけです。
- (委員) 地元対策もあり市場内でやってきたという経緯があります。消費拡大ということを考えると場所を変えることも必要と思います。
- (委員) そろそろ新たな段階に入ってもいいと思います。
- (委員) 今後検討していきます。
- (委員) 北崎にアンテナショップとか無かったですか。
- (事務局) かき焼き小屋はあります。
- (委員) そういう場所でおまつりとかできないか。
- (委員) 計画があつて事前に連絡があれば検討できると思います。
- (委員) 子会社設立の経緯等について説明
- (議長) 閉会の辞